

「霧切谷」の遊歩道が完成

上根・向山地域振興会では、昨年から取り組んでいた「霧切谷」の遊歩道整備が完成したのを記念して、5月28日(日)完成イベントを行いました。午前10時30分からの「霧切谷」上根側入口で行った式典では、中川会長のあいさつ、児玉市長のお祝いのあいさつ、テープカット後、80名の出席者が遊歩道を歩いて根の谷側に下りました。



テープカット

(右側から当振興会神川事務局長、中川会長、児玉市長、八千代南保育園・森野桂樹くん、青野海くん)

旬の食材バイキング

引き続いて11時30分から「潜龍峡ふれあいの里」レストハウスでは、当振興会が加工した味噌・豆腐を使った料理や山菜料理・手作り野菜料理を食べて完成を祝いました。



14種類のバイキング料理が並びました



100名近く人が料理に舌鼓

みんなで活かそう 地域の資源

特色ある地域づくり事業



住民の自主的な地域づくり活動で、特色ある事業により地域の活性化を図るものに対して行われる市の助成事業

上根・向山地域振興会では、地域の知恵を活かし地域を活性化するために、「特色ある地域づくり事業」として平成16年度に「地域マップづくり事業」、「『潜龍峡ふれあいの里』を拠点とした交流事業」を実施し、平成17年度では、「地域マップづくり事業」の継続事業として「地域マップ探索ルートづくり事業」と「霧切谷遊歩道整備事業」を実施してきました。

今年度は次の二つの事業に取り組みます。

「万葉植物」の造園事業

1. 事業の目的

「万葉集」にゆかりのある植物（梅もその一つ）を「潜龍峡ふれあいの里」に植栽する。植栽した植物の傍らに、その植物に関わりのある「万葉集」の中の和歌を掲示する。身近な植物の中にも万葉植物のあることを知り、自然と文学のつながりを味わう。

2. 事業の内容

- ・万葉植物の植栽（植栽のための伐採も含む）
- ・植物名と和歌を掲載した看板の設置
- ・万葉植物公園の視察

水車米の復活

1. 事業の目的

「潜龍峡ふれあいの里」水車は景観用として設置されているが、根の谷川の豊かな水を利用したこの水車を精米やソバの製粉に利用する。水車米には本郷の棚田米を使用して、水車米＋棚田米の自然豊かな美味しい飯米としてレストハウスはじめとする交流事業などに提供する。

2. 事業の内容

- ・水車の動力で精米やソバの粉が挽けるよう改修
- ・水車米を販売する専用袋の印刷
- ・水車米と本郷の棚田保全のための棚田オーナー制などの視察・研修の実施



公園内だけでなく県道下の法面も植栽を検討する



水車の改修を行います

地域の力で 子どもの安全を守ろう

八千代町にある 4 振興会で組織する八千代町振興会連絡協議会では、子どもの安全確保のため、地域安全マップを作成するよう計画を進めています。

安芸高田市の「特色ある地域づくり事業」の認定を受けて、根野小学校と刈田小学校のそれぞれの校区で地域安全マップを作成します。根野小学校校区では、上根・向山振興会と下根振興会が協力して事業を行います。

今後、学校、振興会、保護者などで協議をしながら事業を進めていきます。私たち振興会では、地域安全マップを作るだけでなく、地域安全マップを作る活動を通して、継続的な「地域での見守り活動」に発展するように事業を進めていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

地域安全マップ事業

1. 事業の目的

地域安全マップは、学校と地域が共通の認識を持って、子どもの安全確保に知恵を絞るという意義がある。マップを作る活動を通して、自分たちのまちの現状を知り、まちの安心・安全への関心を高め、子どもたち自身が「犯罪にあわない力をつける」ことを目的とする。

2. 事業の内容

- ・根野小学校・刈田小学校の校区ごとの地域安全マップの作成
- ・「防犯パトロール」「子ども 110 番の家」などと表示されたタスキ・腕章・のぼりなど防犯用品の購入
- ・「地域の安全を考える」研修会の開催



根野小学校の集団下校

地域安全マップ

小学校区を単位に、犯罪や交通事故など通学路周辺の危険箇所や、子どもたちの避難場所に指定された「子ども 110 番の家」などを示す地図

大豆の種まき

～ 早く芽がでますように ～

上根・向山地域振興会ふれあい部では、大豆・ソバの種まきから収穫までを地域の保育園児や小学校児童と一緒にしています。

今年も 6 月 21 日、根野小学校児童 2・4 年生 29 人と八千代南保育園児 13 人が振興会員と一粒一粒ていねいに大豆の種まきを行いました。



かきのき村大井谷棚田 島根県立万葉公園

の視察研修を実施

平成 18 年度特色ある地域づくり事業を実施するにあたり、島根県かきのき村大井谷地区の棚田オーナー制度と万葉植物公園の視察研修を 6 月 26 日実施し、役員・本郷地区の棚田農家など 19 人が参加しました。

大井谷地区には、室町時代末期から築かれた石積みの棚田が 600 枚以上残っており、棚田オーナー制度を導入して都市住民との交流事業を推進しながら、棚田の保全を図っています。当振興会では、地域の宝である本郷の棚田を保全していくため、棚田オーナー制度をはじめ色々な方法を調査・研究し、耕作放棄による棚田の荒廃化を防ぎたいと考えています。

万葉植物公園には、万葉集に登場する数百種類の植物のうち、植栽が可能な 153 種類が植えられ、それらを詠みこんだ和歌の立札が傍らに建てられており、万葉の和歌と自然を鑑賞しながら散策を楽しむことができます。当振興会では、「潜龍峡ふれあいの里」にどのような万葉植物を植栽したら良いか参考にし、地域住民が少しでも親しみやすい公園にする計画を立てていますので、何卒ご協力をお願いします。



かきのき村での研修

「潜龍峡ふれあいの里」の井堰を修繕

昨年 9 月 6 日の台風 14 号の大雨により「潜龍峡ふれあいの里」の池や水車に水を供給している井堰に大きな被害が発生しました。昨年 11 月に実施した児玉市長を囲んでのまちづくり懇談会で早期の修繕を要望したところ、平成 18 年度で予算化していただきました。

6 月 6 日、市から助成を受けて井堰の修繕を行いました。梅雨前に工事を完了することができ、お手伝いいただいた皆様に感謝申し上げます。



あたたかい ご寄付 感謝いたします

「霧切谷」の案内板を広交産業株式会社から寄付していただきました。

案内板は、上根側入口に設置され、「霧切谷」の名前の言い伝えや、思い出話が掲載されています。

